

北名古屋の国際交流・・・

ばづくり、ひとづくり、ちいきづくり。



「アジアフェスティバル」を開催

アフガニスタン、イラン、シリア、北朝鮮など、アジアの状況は、混沌としております。私たちにあって、近隣アジアが、もつとも、理解が難しい遠い国になってしまっている現実を直視する必要があります。

「アジアフェスティバル」は、このようなアジアを、少しでも私たちの身近にしていく国際交流イベントを目指しました。

● ボランティアがエンジン

「アジアを観て、アジアを識り、アジアを食す」をテーマに、平成25年1月27日（日）、北名古屋市文化勤労会館で開催した「アジアフェスティバル」は、約750名の市民の皆様の参加を得て、大変盛り上がりしました。

協会は、多くの人と交流し、世界につながる夢と希望を広げるため、国際交流の場づくり、国際交流を担う人づくり、国際交流を活用した地域づくりを、オープンな運営と市民参加で取り組んでおります。

この「アジアフェスティバル」は、運営企画会議で、アイデア出しから企画、運営、実施まで、118名のボランティアの力で、実現できました。

自立的なボランティアが、確実に協会運営のエンジンになりつつあることを実感することができました。

● アジアへ広がる第一歩

昨年8月以降、日韓を取り巻く政治環境

が厳しくなり、その影響からか、協会の事業推進にも少なからず影響を受けております。しかしながら、時代がいかなる状況になっても、多くの国の人々と相互理解を深める市民レベルの交流は、大変重要なことと考えております。

「アジアフェスティバル」はこのようななかで開催されましたが、これまでの友好提携都市務安郡との交流での実績と経験を活かして、市民による草の根レベルの交流が「アジアへ広がる第一歩」となりました。今後とも、このような認識に立って、時代の要請、価値観を踏まえながら、主張の違いを超えたところの共通の価値を求めて、世界の国々と草の根交流を粛々と推進していきます。



アジアを観て、 アジアを識り、 アジアを食す

●アジアを観て

会場の北名古屋市文化勤労会館1階ロビーでは、「アジアを観る」をテーマにして、大型画面のモニターで、アジアの世界遺産などを上映しました。

1階、小ホールでは、インドネシア人10名と日本人2人で構成したインドネシア・バリ舞踊グループ「ゲンジェック・アジャック・バリ」の皆さんのパフォーマンス。極楽鳥の舞、仮面踊りなど艶やかな衣装と踊りがインドネシア・バリの雰囲気会場いっぱいに醸し出しました。また、オーストラリア・原住民アボリジニ楽器ディジュ



リドゥを、「T o s h i & 七海」のデュオが、情感溢れる演奏で聴衆を魅了しました。ディジュリドゥを通じて、5000年のアボリジニの暮らし、生き方、価値観まで、映像を交え、紹介してくれました。

また、ロビーでは、「協会活動の一年のあゆみ」を写真パネルで回顧しました。多岐にわたる協会の国際交流活動の一端を紹介することができました。

●アジアを識り

会場1階ロビーで、「フェアトレードと何か？」を展示。シアバターやフェアトレード物産の販売コーナーを特設しました。地球規模で格差が広がるなかで、開発途上国の地域づくりに貢献する取り組みを深く考えることができました。

また、ロビーでは、ベトナム、スリランカ、インドネシア、モンゴル、インド、バングラディッシュ、マレーシア、ネパールなどの民族衣装を試着、記念写真の撮影、記念缶バッジの制作など盛り上がりました。

2階視聴覚室で、国際理解を深めるため、アジア映画ビデオを2本上映しました。ワケがわからないが、面白い！インド映画「ロボット」とオスカー外国語映画賞を受賞したイラン映画「別離」。多種多様な伝統と価値感が混在するアジアを識ることができました。

また、AFS 高校留学の集いも30名の参加を得て、開催されました。外国人留学生や派遣留学生OB、OGらとの交流から、北名古屋の若者が、海外に関心を持ち、



留学を志す初めの第一歩としては、有意義な集いになりました。

●アジアを食す

今年のアジアンフードコーナーは、ベトナム料理です。ベトナム専門料理店「ドンコイ・モンアン・ベトナム」が、2階にオープンしました。

メニューは、ベトナム生春巻き。ホー。チエ。ベトナムカレの4品。「これがベトナム料理なの？」、私たちには、ちよつと新鮮な本格的なベトナム料理を堪能できました。

また、アジアンカフェも開設しました。ベトナムカフェ、はす茶、スジョンガ（韓国茶）、烏龍茶、マンゴジュースなど。スウィーツは、和菓子、ケーキ、菓菓（韓国伝統菓子）などメニューも盛り沢山でした。アジアン音楽もBGMで流し、アジアンテイスト溢れるカフェが文化勤労会館に出現しました。



アラブの春と、 日本人女性記者死亡

協会では、国際理解を深めるため、平成24年9月29日(土)北名古屋健康ドーム研修室で、中日懇話会事務局長小塚哲司氏をお迎えし、講演会を開催しました。以下は、その概要です。

中東のアラブ諸国では、独裁者とそれを取り巻く一握りの富める者が、貧しい多くの人々を支配するいびつな社会が続いてきました。不満を抱いて抵抗すれば、令状なしで捕まえることが出来る非常事態令による恐怖政治がまかり通ってきました。

しかし世界的なIT革命、情報化の波がアラブ諸国にも押し寄せ、携帯電話とかフェイスブックなどを手にした若者、知識人らが、抑圧されてきた怒りを共有。独裁者にノーと叫ぶ民主化運動が劇的に連鎖的に広がり、奇跡のような歴史的革命が実現したのです。

まずチュニジアで火を噴きました。一昨年の暮れ、家族を養うため青年が路上で野菜を売っていました。そこに警察が現れ、「無許可だ」と野菜をひっくり返し、ばかりを没収されてしまう。「返してほしい」と言うと、「金をよこせ」と要求され、怒り狂った青年は県庁前で、油をかぶり焼身自殺をしました。3週間後亡くなり、その埋葬の行列の場にも、警察が現れ、解散させてしまう。

やり場のない怒りと悲しみ。これらの映像を友人がフェイスブックなどで流したところ、たちまち「許さない」「立ち上がれ」という動き



が広がり、警察や官庁、銀行などへの投石、かつて見られなかったデモまでもが起きた。当初は逮捕者が続出したが、全国に広がった混乱の様子がメディアを通じ、国際社会にも伝えられ、暗黙の支持も広がり、ついにはベネズエラ大統領が国外脱出を図り、奇跡的に革命が成就されたのです。

それがエジプトに波及します。数年前から前兆が見られました。2008年に主食のパン不足から、カイロで小さな暴動が起き、地方の紡績工場で女性労働者がストを決行します。無論すぐ鎮圧されましたが、一部の若者らが秘かに抵抗運動の結成を準備。2010年6月、地中海に面したアレキサンドリアで、薬物犯罪を取り締まる警察官による麻薬密売情報を掴んだ若者が、取引現場を盗み撮りました。それを知った警察官が彼を殴り殺してしまう。

彼の死がエジプトの若者を目覚めさせました。ゲーグルの現地責任者が、無残な死をネットで流し、各地の民主化グループと連携し、フェイスブックなどを通じてデモなどを広げていったのです。「警察官が催涙弾を投げてきたら、コーラで目を洗え」「警察車両の窓に黒いスプレーをかけろ」とかの戦術まで流した。こうした運動が全国にあつという間に広がり、カイロのタハリール広場には最終的には数十万人が集まり、30年以上君臨してきたムバラク大統領の辞任を成し遂げたのです。貧しい人が多いエジプトでも国民の15人に1人がフェイスブックを持つようになり、彼らが国を動かしたのです。

リビアとシリアの場合は、血みどろな内戦に発展しました。リビアのカダフィ大佐は、イスラエルの占領下にあるパレスチナ解放も叫び、独裁者にしても住民側に立つ指導者というイメージがありました。しかし反政府運動が起きると、彼らに向かって平然と戦車の銃口を向け、空からは戦闘機で圧殺しました。軍人を外国から雇っていたのです。リビア人の軍隊なら国民に銃口を向けることに少しは躊躇しますが、外人部隊は金のためなら命令に従います。こうした非人道的行動に対し、国際社会が動き、NATO(北大西洋条約機構)軍が出動し、最終的にカダフィは反政府側に殺されました。

シリアはイスラム教アラフ派という小さな宗派に属するアサド大統領と親族、一部の取り巻きが国の要職を牛耳る独裁社会でした。そこに「アラブの春」が飛び火し、反政府軍と政府軍との内戦状態は今なお続いています。

日本人の女性ジャーナリスト、山本美香さんが犠牲となったのは、内戦が激化していたシリア第二の都市アレップで、事実上の夫である佐藤さんと一緒に取材中でした。

エジプトの反政府運動では、軍事的援助をしている米国が「国民の声を聞け」と最終局面で大統領の辞任を促しました。リビアでは国民に無差別攻撃する政府軍に対し、国際社会が軍事行動に出て、民主化を手助けしました。しかしシリアの場合は、同国に兵器などを売っているロシアや中国が、国連の制裁決議に反対し、アサド政権をいさめる国際社会の結束がなかなか出来ないでおり、内戦が終息出来ないのです。

山本さんは「戦場に生きる女子、子供、お年寄りなど、市民の悲惨な姿を世界に伝えて、戦争をやめさせたい」という信念を抱き続けてきました。アフガニスタン紛争の頃から佐藤さんと一緒に取材を始め、イラク戦争を経て、内戦下のシリアに入りました。彼女の死亡が報じられた時、衝撃を受けました。それは昔、彼女から戦場取材についての心構えを聞いていたからです。

私が経験した湾岸戦争でも今回のイラク戦争でも、交戦が行われる都市からは、我々新聞やテレビなどの取材陣は人命の危険から回避します。そこに残って取材し、契約した日本のテレビ局などに映像を送る仕事をしているのが、山本さんらフリーの会社です。それだけ危険だから、特別な防備策をとっており、契約料も高いはずですが。

彼女に会ったのは、イラク戦争後、東京でジャーナリスト会合での分科会でした。彼女はイラク戦争で米軍がバグダッドを占領した直後、バグダッドのホテルの隣室のロイター通信社が誤爆され、カメラマンが死亡した時、重傷の仲間を助けた話を披露しました。

そこで、「戦場に残り、身の危険を感じた時はどうするのですか?」と質問したところ、「私達だって無鉄砲に、無防備に取材をしているわけではありません」「万一の際、どうやって脱出し、その際の移動する手段も確保している」と言っていました。

シリアでの取材では反政府軍側について動いていたのですが、たまたま政府軍も反政府軍もまだ制圧していない空白地域で、突然、政府軍と鉢合わせとなり、相手は日本人ジャーナリストと知って、狙い撃ちしたようです。有能なジャーナリストを失って残念です。

アジアフェスティバルを終えて

地域おこし委員会委員長 永井政光

1月27日のアジアフェスティバルは、たくさんの方の来場者の方に楽しんで頂き、何とか盛況な形で終える事が出来て、安心しました。

私たちの国際交流⑬

今年で、北名古屋国際交流協会ボランティアに参加して3年となります。昨年の韓国フェスティバルからの参加で、今年はインドネシア・バリ舞踊の担当をさせて頂いていただきました。以前、駐在経験のあるインドネシアで見た、バリ島の特徴的な舞踊を市民の皆さんに、耳で歌と音楽、目と踊りによる踊りと衣装を見て頂いたら、カルチャーショックとは言わないでも、インドネシアという国に興味を持っていただけたかなと思います。企画させて頂きました。実際、文化勤労会館の小ホールにて、アジア独特な音楽が始まり、『極楽鳥』の舞の衣装を着た、二人の女性が舞い始めると、集まった市民の方から、『綺麗だね。』という声が多く聞かれました。また、バリ人の男性達による、ゆつくりとしたバリの歌と、その楽器演奏は不思議なアジアの雰囲気会場を包んでくれました。こういう形で演奏や舞踊を、生で体験していただくことが出来ます。昨年の韓国フェスティバルでは、中学生の方々の韓国務安郡へのホームステイ体験発表会のお手伝いもさせて頂きました。海外へ韓国へ行き、自分の力でホームステイ先の韓国人の家族とコミュニケーションして、自分の気持ちを伝える、相手の気持ちを理解する、そして日本に無い物や事を体験されて、頼もしくなる中学生の姿を見せて頂いて、国際交流協会の行事を通じて色々なイベントをお手伝いすることに、やりがいを感じました。こうした気持ちへ自分を動かしたのも、昔の自分の体験があったからだと思います。約11年の海外駐在をして、いつもその赴任先の海外の方に教えて貰いながら、自分自身を成長させ、自分自身の発見をさせてもらいました。

外国語講座を開講します

韓国語A講座（初學者向）

夜間コース 平成25年5月から年22回

・と き 毎月第1、第3木曜日 午後7時～9時

・ところ 北名古屋健康ドーム研修室

韓国語B講座（既修者向）

夜間コース 平成25年5月から年22回

・と き 毎月第2、第4水曜日 午後7時～9時

・ところ 北名古屋健康ドーム研修室

韓国語C講座（既修者向）

昼間コース 平成25年5月から年22回

・と き 毎月第1、第3木曜日 午後2時～4時

・ところ 東公民館視聴覚室

中国語講座（初學者・既修者向）

夜間コース 平成25年5月から年22回

・と き 毎月第1、第3木曜日 午後7時～9時

・ところ 北名古屋健康ドーム会議室

英語講座（既修者向）

アニメや絵本などを教材にして、若いお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんを対象に、子や孫といっしょに英語で遊ぶことをめざす《楽しくて元気になる英会話》レッスンです。

・と き 平成25年5月から年22回

・ところ 毎月第2、第4金曜日 午前10時～12時

・ところ 北名古屋健康ドーム研修室

対象 市内在住・在勤の方

・受講料 一般 年14000円

・会 員 年11000円

・定 員 各コースとも30名（先着順）

・申込 平成25年4月1日から受講料を添えて、協会事務局へ申し込みください。

なお、開講日は、原則をお示ししております。詳細は、事務局にお尋ねください。

また、お申し込みが15名以下の場合は、開講を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

通常総会開催

協会では、通常総会を開催します。

・日 時 平成25年4月13日（土）午前10時から

・ところ 北名古屋市文化勤労会館小ホール

・対 象 協会員

・議 題 平成24年度事業報告・決算報告

平成25年度事業計画（案）・事業予算（案）

協会の総会は協会会員の方しか参加できません。なお、会員の皆様には、事前に開催通知をご送付させていただきます。

総会開催記念演奏会

通常総会終了後、国際理解を深めるため、スイス民族楽器演奏会を開催します。

なお、会員の皆様以外の入場には、入場整理券が必要です。（先着50名様）

・日 時 平成25年4月13日（土）午前11時から

開始時間を変更する場合がありますので、あらかじめ、ご了承ください。

・ところ 北名古屋市文化勤労会館小ホール

・内 容 アルプホルンの調べ

・入場整理券 平成25年4月1日より、市役所西庁舎4階協会事務局で配布します。

各種申し込み、お問い合わせ等は、左記までお願いいたします。

〒481-8531 北名古屋西之保清水田15番地

北名古屋市役所（西庁舎4階）

北名古屋国際交流協会

電話 0568-1(22)11111 内線2400

FAX 0568-1(25)11800

Eメール info@kitanagoya-kia.jp

ホームページ http://www.kitanagoya-kia.jp